

監修:

関西大学 社会安全学部長 教授
人と防災未来センター長

河田恵昭

まず逃げろ！高台へ！

巨大津波から命を守る



企画意図

2011年3月11日、東日本の太平洋沿岸を襲った巨大津波は、2万人もの死者・行方不明を出す大惨事となりました。日本列島は、常に地震と津波の危険にさらされています。近い将来も東海地震、東南海地震、南海地震というプレート境界型の巨大地震が発生し、東海から九州にかけての沿岸各地を大津波が襲うと予測されています。しかし、津波の場合は、地震が起きてから津波が到達するまでに、数分から数十分の時間があるので、適切な避難行動によって、犠牲を減らすことができます。一人一人が津波の恐ろしさをよく知り、いざというとき、素早く高台に避難できるよう備えることが、津波から命を守ることにつながるのです。

本作品では、東日本大震災をもたらした巨大津波のメカニズムとその被害状況、津波の破壊力を示す実験、専門家や津波体験者の話を通して、津波の恐ろしさを検証していきます。そして、東日本大震災の教訓をふまえ、津波から命を守るにはどのような避難行動を取ればよいかを、津波対策に取り組む地域の事例をまじえて具体的に紹介し、津波の恐ろしさと、素早い避難行動の大切さを訴える内容となっています。

映学社作品